62 援により、安心して暮らせている

(参考項目:28)

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業	所記入)】				
事業所番号	4572100842				
法人名	人名 医療法人社団慶城会				
事業所名	グループホーム仰星台入綾				
所在地	所在地 宮崎県日向市東郷町山陰丙1494-1番地				
自己評価作成日	令和6年08年09日	評価結果市町村受理日	令和6年10月25日		

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/45/index.php?action kouhyou pref topjigyosyo index=true

【評価機関概要(評	価機関記入)】		
評価機関名 社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会			
所在地	宮崎市原町2番22号宮崎県総合福	冨祉センター本館3階	
訪問調査日	令和6年9月19日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入綾の理念でもある「個人のペースに合わせ残存能力を活かし自立を促す支援を行います。」でもあるように、毎 |日午前中は職員がそれぞれ考えた体操、脳トレーニング、音楽の時間等で楽しまれています。個々のペースに合 わせて計算問題の得意な方、漢字の得意な方、塗り絵の得意な方、新聞紙で袋を作るのが得意な方それぞれの 得意分野を活かしてその時間をもうけています。職員は笑顔にて接して職員間も情報を共有して信頼関係をもって 業務を行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

母体医療法人が主治医であり日々の体調管理など密な連携が図られることは、利用者や家族の安心に 繋がっている。また、同法人系列ホームが4か所あり高台にあるホームは災害時の避難場所としたり、近 隣のホームでは必要に応じ会議を開き意見交換や情報の収集を行うなど運営に生かしている。季節の |野菜をふんだんに使い彩りよく栄養バランスが整った食事は、五感で楽しめ利用者に好評の食事となっ ている。食材となる野菜作りや干し大根、梅干し作りなどを行うことで、食を楽しむことの一環となるよう努 めている。

V.	サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)	※項目No.1~55で日頃の耳	取り組みを自己点検したうえで	、成	果について自己評価します		
	項 目	取 り 組 み ↓該当するものに○印	の成果		項目	↓該当	取り組みの成果 するものに〇印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴 んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利 ○ 2. 利用者の2/3 3. 利用者の1/3 4. ほとんど掴んで	くらいの くらいの		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めて いることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	0	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある	度ある		通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の 人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	0	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
8	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利 2. 利用者の2/3 3. 利用者の1/3 4. ほとんどいなし	くらいが くらいが	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者と のつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や 応援者が増えている (参考項目:4)	0	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
9	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や 姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利 ○ 2. 利用者の2/3 3. 利用者の1/3 4. ほとんどいなし	くらいが くらいが		職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	0	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
)	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利 2. 利用者の2/3 3. 利用者の1/3 4. ほとんどいなし	くらいが くらいが		職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	0	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
1	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利2. 利用者の2/33. 利用者の1/34. ほとんどいなし	くらいが くらいが		職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむ ね満足していると思う	0	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支	1. ほぼ全ての利 O 2. 利用者の2/3		•			

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

自己評価および外部評価結果

自	外	項目	自己評価	外部評価		
己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I .理	■念に	基づく運営				
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	個々のペースに合わせて残存能力をいかして本人 様に寄り添い思いや希望を受け止め支援させて頂 いています。	日々の支援に反映できるよう、理念について定例会等で話し合いを重ねている。それぞれの職員が覚え 易くかみ砕いた形で理解を深め、理念に沿った支援 に努めている。		
2	(2)	〇事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事 業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入をしています。回覧板にて地域の情報を受け入れ近所の方との挨拶ふれ合いを大切にしています。	回覧板や広報誌を利用者間にも回覧することで、利用者が直接地域の情報に触れられ、共有に繋がっている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の 理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしてい る	運営推進会議を開催して認知症の方の理解支援報 告をしています。			
4	(3)	〇運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価へ の取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこ での意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では今の状況やホームでの活動状況 を報告し助言を頂き意見を検討してサービス向上に 努めています。	参加者からは、毎回活発に意見が出されている。また、町内が断水しホームも困っていたところ、運営推進会議メンバーから、水を運ぶなどの支援があるなど、協力関係もできている。		
5	(4)	〇市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実 情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協 力関係を築くように取り組んでいる	市の担当の方からの情報を常に把握して担当の方とコミュニケーションをよくとり良好な関係を築いています。	管理者は、メールで返信可能な場合でも、市に出向き担当者と面会し会話を重ねるなど、信頼関係の構築に取り組んでいる。		
6	(5)		身体拘束等の研修に参加をして身体拘束の取り組 みを再確認し定例会で課題に挙げて身体拘束の弊 害について職員が理解をしています。	玄関から出るとすぐが国道であり、夜間等見守りが 少ないときは、家族の了解を得てやむを得ず施錠す ることがある。帰宅願望が強い利用者には電話で家 族と会話してもらうなど、抑圧感のない暮らしを支援 している。		
7			虐待防止研修に参加をして今の職場での利用者の 対応を再確認し共通の認識を持ち毎月の定例会で も議題に挙げて話し合いをして防止に努めていま す。			

自	外	項目	自己評価	外部	評価
自己	部	リー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		〇権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見 制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者 と話し合い、それらを活用できるよう支援している	1名の方が成年後見制度を利用されています。		
9			契約に関する説明等は文書で説明し、同意を頂いています。利用者様や家族の方に施設に対して不安や疑問点を尋ね話し合い解決に向けて支援を行っています。		
10		外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている 	面会時に利用者様の情報提供を行い日常生活の様子を報告しご意見等を伺っています。ホームの玄関に意見箱を設置しています。	運営推進会議に家族の出席もあり、意見を出せる機会となっている。また、写真を活用した便りから日頃の利用者の様子を把握してもらい意見に繋がるよう配慮がされている。	
11		○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を 聞く機会を設け、反映させている	古人の人とは今日 しこの辛日ナーに一根氏と映る人	管理者は職員と日頃からコミュニケーションを図り、話し易い雰囲気作りを心掛けている。退院直後の利用者に対して、歩行器利用が良いのではとの意見を採用し、安全な歩行の確保に繋がった。	
12		〇就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況 を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が 向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努め ている	職員のステップアップに向けて資格取得を支援しています。介護職員は処遇改善加算を行っています。		
13		量されたは、ムストリンドの前にとなりる機会の能は、と、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修に参加をして職員同士の声掛けや向上心を持ち質の向上に努めています。		
14		〇同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	系列の会議に参加をして意見交換等を行いサービ ス向上に努めています。		

自己	外	項 目	自己評価	外部	評価
己	部	块 口	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安	心と	言頼に向けた関係づくりと支援			
15		するための関係づくりに努めている	思っていることを遠慮なく言って頂けるように環境を つくりコミュニケーションを図り安心して生活できるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、 不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努め ている	話しやすい雰囲気、環境作りに努め本人様、ご家族 様の不安や困っていることを傾聴し安心して生活で きるように支援しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」 まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も 含めた対応に努めている	本人様ご家族様の話しをよく聞いて受け止め今必要とすることを考えて本人様のよりよい支援を提供できるように努めています。		
18		〇本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らし を共にする者同士の関係を築いている	職員と一緒に興味があることで関わりを多く持って 親しみを持ち関係性が築けるように努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と 家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係 を築いている	毎月利用者様の生活の様子を手紙で報告して写真 付きのお便りを同封しています。必要な時は電話連 絡しています。		
20			馴染みのお店(美容室)に出かけられるように本人 様が楽しみにしていることを把握して支援していま す。	近隣スーパーへの買い物支援や携帯電話で定期的 に家族と会話を楽しまれる機会を作るなど、一人ひ とりの生活習慣を尊重している。	
21		〇利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに 利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努め ている	毎日、体操、レクレーションや個別作業を行い季節 に応じての行事参加で親しみが持てるように取り組 んでいます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部	評価
己	部	7, 1	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を 大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォ ローし、相談や支援に努めている	同じ系列の病院へ入院された時にも出向きご本人 様と会って話をしたり、その時の状況を確認していま す。		
		くらしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	(9)	〇思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努 めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様との会話の中でその人のもつ思いや希望 に寄り添い一人ひとりの思いを大切にして支援に努 めています。	日々の関わりの中で、一人ひとりの言動や表情を通して思いや意向を把握できるよう努めている。 意思 疎通が困難な方は、ご家族等関係者から情報を得 て支援している。	
24		〇これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様からこれまでの経験を聞き取りご家族様からの情報も確認をしながら、これまでの生活の経過等の把握に努めています。		
25		〇暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の 現状の把握に努めている	毎朝の、バイタル測定や体調の確認を行い職員間 の連携を密にしながら現状把握に努めています。		
26	, ,	〇チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月に一度の定例会で一人ひとりのケアのあり方について話し合い、意見交換を行い現状に即した計画を 作成しています。	担当制を導入し定例会での話し合いで、全職員が 情報共有できている。日々の記録、職員間の話し合 いや本人状態、意向、家族の意向を反映させたプラ ンの作成をしている。	
27		〇個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別 記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介 護計画の見直しに活かしている	日々の生活の様子や気付きを、個別に記録を通して職員間で情報共有し役立てています。		
28		〇一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	コロナ禍で地域の方との交流ができていませんが季節に応じて花見ドライブに出かけ気分転換をしています。		

自己	外	項目	自己評価	外部	評価
己	部	7	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		〇地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本 人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽し むことができるよう支援している	季節に応じて花見ドライブ出かけて気分転換をしています。今年はクルスの海にもドライブに行きました。コロナの方は少し落ち着いてきましたが地域との交流はできていません。		
30	(11)	〇かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	年に一度の健康診断、月に一度の定期受診を行い 体調の変化に気をつけて体調不良の時には系列の 主治医に連絡をしっかりと取り受診を行っています。	家族対応で受診するが、書面等を用いてかかりつけ 医に情報提供を行っている。特に母体医療法人が 主治医で、密な連携のもと迅速な指示を受けること ができている。	
31		〇看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づき を、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、 個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように 支援している	日々の記録、申送りノートに記入して職員間で情報 共有し支援できるように行い、体調の変化気づき等 ある時は確認を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報 交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中の情報交換入院中の様子を確認を行い系列 の病院のケースワーカーが主となり確認を行ってい ます。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階 から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできること を十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	法人の医療関係と連携をとり本人様とご家族様と話し合い必要に応じた支援に取り組んでいます。	入居時、ホームの方針を本人、家族に口頭で説明している。また、状況の変化に応じて家族と話し合いを重ねている。	
34		〇急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応 急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身 に付けている	体調の急変時や事故等発生時、意識外傷痛みの 確認、バイタル測定速やかに主治医、看護師に連 絡を行い指示を受けています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者 が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域 との協力体制を築いている	避難経路の通路口に物などがないかチェックをし、 備蓄の確認を行い日頃から意識づけています。年2 回防災訓練を行っています。	消防や民生委員等は運営推進会議を通してホーム 状況も分かっているため有事の際は、駆けつけ避難 誘導できる体制がある。防災備蓄品は、取り出し易 さ等置き場所も検討し整備されている。	

自己	外	項目	自己評価	外部	評価
己	部	垻 日	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
W.	そのノ	くらしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	(,	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ね ない言葉かけや対応をしている	寄り添う気持ちを忘れずに声かけに努め、会話の中で馴れ合いの言葉にならない様に職員間の意識づけをしています。	利用者に敬意を払い誇りやプライバシーに配慮し、 一人ひとりに合わせ丁寧で優しくさりげない言葉か けや対応を常に心掛けている。	
37		〇利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決 定できるように働きかけている	1人ひとりの希望や思いに耳を傾けて利用者様が安心して生活できるように実現に向けて支援をしています。		
38		か、希望にそって支援している	勉強会の中でも話し合いの場を持ち一人ひとりの思いに耳を傾けて思いや希望を確認し支援をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し ている	朝の洗面時は整容のお手伝い声かけを行い、入浴時には声かけや着脱のお手伝いを行いながら毎日その人らしい身だしなみができるように支援をしています。		
40	(,,,,	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力 を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片 付けをしている	旬の食材を使い皆様の好みを把握して毎日の食事 に職員手作りで提供しています。今年も皆様で竹の 子の皮を剝いて下さったり切り干し大根を作りまし た。	保存食作りや誕生日でのリクエストメニューの提供 や栄養バランスを考えた食事は、彩りや盛り付けに も気を配り、利用者が楽しみになるよう努めている。	
41		〇栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保 できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援を している	毎食後食事量チェックを行っています。9時と14時に水分補給を行っています。就寝前の水分補給も行っています。		
42		〇口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひと りの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの声かけを行っています。夕食後 義歯の方は義歯洗浄剤につけてホールで保管をし ています。		

自己	外	項目	自己評価	外部	評価
	部	1	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(12)	〇排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や 排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排 泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表にて排泄時間を確認し声かけ誘導を 行っています。	排泄量や排泄間隔、水分摂取量等を勘案して、さり げない声かけ誘導を行うなど、利用者一人ひとりの 状態に合わせた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表にて排泄の確認、運動声かけ水分補 給して頂き 食事を工夫しスムーズな排泄を心がけ て必要に応じて緩下剤を使用して頂いています。		
45		るように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々にそった支援をしている	体調の確認を行い一人ひとりの希望でシャワー浴 浴槽に入られたり時には入浴剤を入れて温まって頂 いています。	季節を感じるゆず湯や入浴剤を使い、視覚的にも楽しめ、気持ちよく入浴できるよう工夫をしている。また、拒否されるときは、無理強いせず時間をずらすなど配慮がなされている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休 息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中ホールにて座って過ごされる方が多く昼食後は 居室で休んで頂くよう案内を行い居室の温度を調節 し寝つきやすい環境を整えています。		
47		〇服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や 用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化 の確認に努めている	内服薬名、用法を一覧で提示をして職員一同が把握できるようにしています。服薬の際は一人ひとり手渡し及び口に含んで頂き症状の確認を行っています。		
48		りの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、 気分転換等の支援をしている	興味、特技を把握し日常生活にて活かして頂き 縫い物 魚さばき方 切り干し大根作り等で楽しみ気 分転換をはかって頂いています。		
49		〇日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	四季折々の花を見にドライブに行ったり 海を眺め に行く等で外出の機会をもうけています。家族支援 にて外出され食事を食べられ楽しまれる方もいらっ しゃいます。	積極的にドライブ等による外出支援を行っている。 また、屋外で焼肉会を行ったり、プランターで栽培す る花や野菜の草取りや水やりを行うなど、日常的に リフレッシュできる機会を作っている。	

自	外部	項目	自己評価	外部	評価
自己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		〇お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	欲しいものがあると職員に依頼をされ購入しています。本人様が一緒に買い物に行き購入される方もいます。		
51		〇電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり 取りができるように支援をしている	本人様から依頼がありましたら職員が電話をかけて 直接お話をして頂いています。		
52	(19)	〇居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激 (音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活 感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるようなエ まをしている	くつろげる空間づくりに心がけて居心地良く過ごされるように努めています。季節にあった作品、写真等を掲示して会話を広げて頂いています。	共用空間は空調が管理されやさしい採光の取入れなど居心地よく過ごせるよう配慮している。また、壁の掲示物からは、季節が感じ取れるような工夫もされている。	
53		〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同 士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う方の側に行かれて会話を楽しまれたり、 ソファーにてゆっくりと座られのんびりと過ごされて います。		
54	(20)	〇居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居 心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた衣装ケース(タンス)家族の写真等を飾	リクライニングチェアーやテレビが配置された個々の 生活に合わせた居室では、好みのCDで音楽を楽し むなど、本人が居心地よく過ごせるような工夫をして いる。	
55		〇一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活 かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるよう に工夫している	居室、廊下、トイレ等手すりを設置し安全に移動でき るようにしています。		